

オークマ (6103) 20/3 期決算メモ ネガティブ

20/3 期は米中問題やコロナ影響もあり 18.7%減収 45.6%営利減、20/3 期上期以降不透明

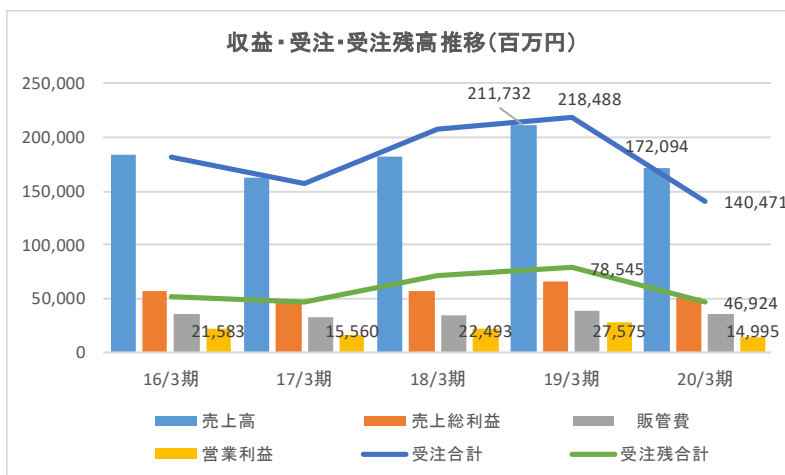
株価 3650 円 (4/28) 時価総額 1232 億円 (4/28) 発行済株 33755 千株 (4/28)  
 PER21/3 期 DO (82X) PBR (0.69X) 配 15 円 (DO 予) 配当利回り 0.4%

要約

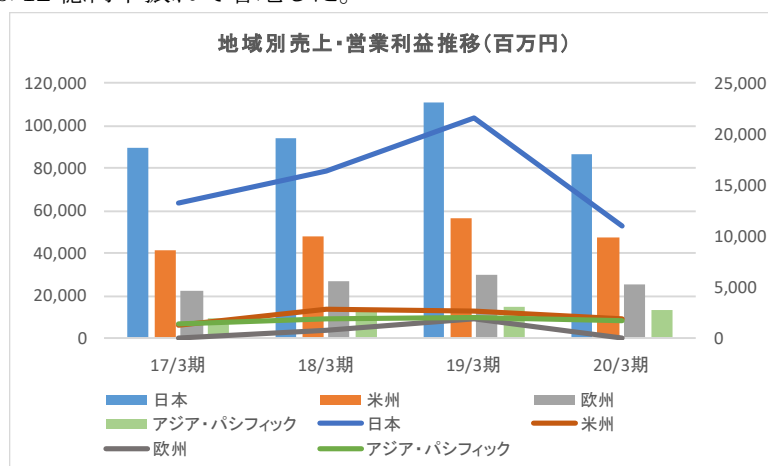
- 20/3 期は米中問題やコロナ等で 18.7%減収 45.6%営利減、受注 35.7%減、受注残 40%減
- 21/3 期はコロナ影響不透明で会社側は 21/3 上期 24.2%減収、61.4%営利減予想のみ開示
- 22/3 期は世界的な設備投資の回復から収益回復見込むも伸び率は緩やかに
- 株価は業績悪化を織り込み再度年初来安値更新の懸念あり

20/3 期は米中問題やコロナ等で 18.7%減収 45.6%営利減、受注 35.7%減、受注残 40%減

4/28 に 20/3 期決算が開示された。20/3 期は売上高 1721 億円 (18.7%減)、営業利益 150 億円 (45.6%減)、経常利益 155 億円 (44.8%減)、税引利益 107 億円 (42.2%減)、受注 1405 億円 (35.7%減)、受注残 469 億円 (40%減) と、米中問題やコロナ影響もあり、大幅減収減益となった。また 10/30 の減額修正予想に対しては売上で 21 億円上振れたものの、営利では 12 億円下振れて着地した。

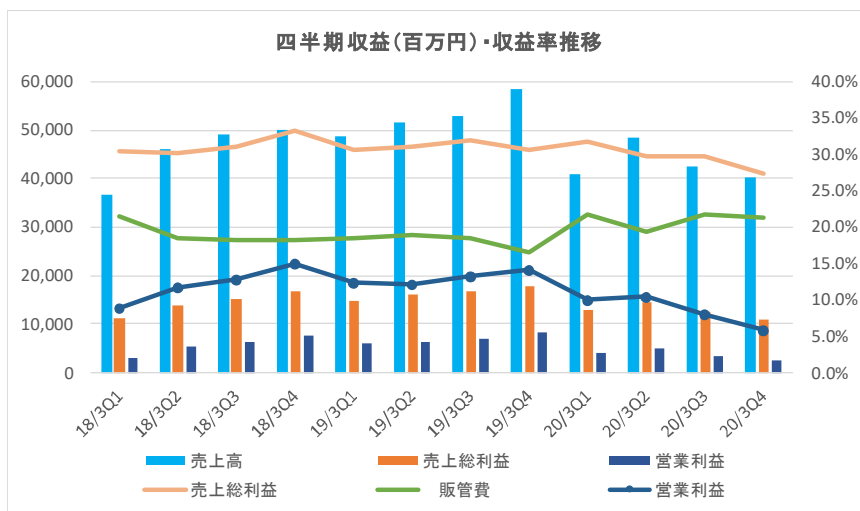


地域別収益では、同社生産の 90%が国内で行われていることから、利益の大半が国内で獲得する形となっている。21/3 期仕向先売上高は日本が 867 億円 (21.7%減)、米州 472 億円 (15.7%減)、欧州 252 億円 (15.7%減)、中国 171 億



円（25.8%減）など、軒並み減少、利益面では日本が111億円（48.8%減）となったことが大きく影響している。

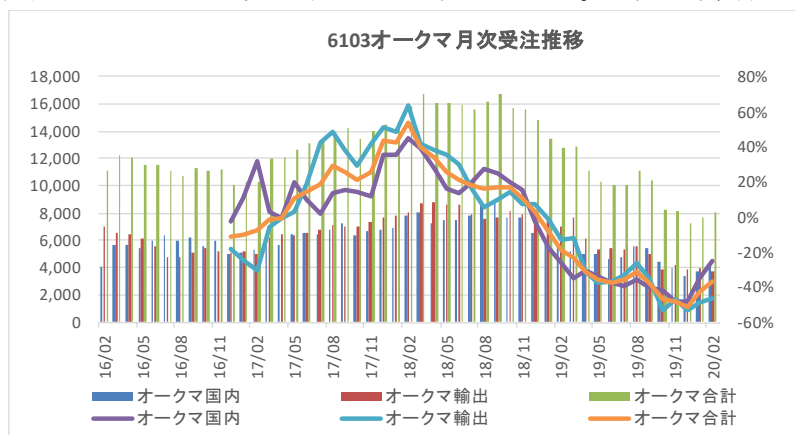
四半期収益推移では期を追う毎に厳しさが増しており、Q4では前年同期比31.5%減収、71.4%営業減、Q3比較でも6.0%減収、30.9%営業減、受注高も同期比36.7%減、Q3比7.0%減、受注残高も同期比40.0%減、Q3比15.4%減収減といずれも厳しい数字となっている。



### 21/3期はコロナ影響不透明で21/3上期35.1減収94.6%営業減、20%受注減予想開示

21/3期はコロナ影響不透明で会社側は21/3上期のみの予想開示に止めた。21/3上期会社予想は売上高580億円（35.1%減）、営業5億円（94.6%減）、経常利益7億円（92.6%減）、税引利益5億円（91.9%減）、受注高600億円（20%減）、受注残高489億円（41.8%減）予想としている。新型コロナウイルス感染影響の世界的な影響から、ボトムを脱したと見られる中国を除き日本、欧州、東南アジアの更なる受注落ち込みが見込まれる。同社は中国ウエイトが他社比較で低く、

製造の中心も日本であり、他社以上に厳しさが增そう。特に自動車産業は日欧米で操業停止が相次ぎ、北米、欧州、日本で高機能機種において定評のある同社は、不要不急の設備投資抑制から年度を通じて受注低迷に苦しめられよう。



利益面では極力設備投資を抑制、研究開発費も抑制すると見られるが、20/3期に103億円（44%増）の大型設備投資を実行、自動化投資として注目されるが、償却負担増と稼働率低下でこの投資が必要低迷で足かせとなろう。現状、新型コロナウイルス対策で国内の緊急事態宣言が6月まで延長される懸念の中で、国内生産も想定以上に制約を受けると判断、上期営業赤字転落、通期でも90%程度の営業減益が避けられないと判断する。

## 22/3 期は世界的な設備投資の回復から収益回復見込むも伸び率は緩やかに

22/3 期にはコロナウイルスの克服を前提に、世界の自動車生産の再拡大、EV、無人運転などの設備増強が実行されよう。またコロナの影響から無人工場ニーズの高まりが見込まれ、増収増益に転じてこよう。しかし、コロナの影響で移動分野のニーズが大きく変化する可能性も高く、同社は半導体向けなどのウエイトが低い事などから、収益の回復は緩やかなものに止まろう。

## 株価は業績悪化を織り込み再度年初来安値更新の懸念あり

株価は 1/7 の年初来高値 5760 円から米中摩擦に加えコロナウイルス影響も加わり、工作機械受注が 10 年ぶりに厳しい局面に陥ったことから、全体相場の下落とともに急落。3/19 には年初来安値の 2709 円を付けたあと、全体相場の反騰に合わせて 1000 円程度戻した水準にある。今回 20/3 期決算は会社想定並みの着地であったが、21/3 期は上期だけの予想開示で、しかも利益が 90%減予想と、コンセンサス以上の厳しい数字となったと判断、しかも下期も Q3 以降の回復しか望めない中で営業利益は収支均衡に近い水準に止まる見通し。しかも 22/3 期もコロナ影響が尾を引くとみられ、収益の回復があっても 20/3 期水準までの回帰は難しいと判断した。このため、当面、4 月の月次受注が会社想定同期比 20%以上の落ち込みとなった場合には、再度年初来安値 2709 円を下回る株価が見込まれる。なお、決算説明電話会議は 5/7 に開催予定となっている。

オークマ(6103)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/3期	211,732	16.3%	27,575	22.6%	28,186	24.8%	18,521	30.2%	578.550	125.00	
20/3Q1	40,826	-16.2%	4,117	-31.2%	4,342	-33.4%	2,784	-25.1%	88.19	0.00	
20/3Q2	48,526	-6.1%	5,070	-18.8%	5,142	-22.0%	3,357	-21.4%	106.34	65.00	
20/3Q3	42,649	-19.3%	3,435	-51.2%	3,680	-48.8%	2,823	-41.5%	89.4	0.00	
20/3Q4	37,999	-35.1%	3,578	-56.9%	3,836	-51.4%	2,036	-64.3%	64.47	65.00	
20/3H1	89,352	-11.0%	9,187	-24.9%	9,484	-27.7%	6,141	-23.1%	194.53	65.00	
20/3H2	80,648	-27.6%	7,013	-54.3%	7,516	-50.1%	4,859	-53.9%	153.87	65.00	
20/3期期初会予	201,000	-5.1%	24,000	-13.0%	24,500	-13.1%	16,300	-12.0%	516.26	130.00	
20/3期修正会予(10/30)	170,000	-19.7%	16,200	-41.3%	17,000	-39.7%	11,000	-40.6%	348.4	130.00	
<b>20/3期</b>	<b>172,094</b>	<b>-18.7%</b>	<b>14,995</b>	<b>-45.6%</b>	<b>15,549</b>	<b>-44.8%</b>	<b>10,712</b>	<b>-42.2%</b>	<b>339.3</b>	<b>130.00</b>	
<b>21/3H1会予</b>	<b>58,000</b>	<b>-35.1%</b>	<b>500</b>	<b>-94.6%</b>	<b>700</b>	<b>-92.6%</b>	<b>500</b>	<b>-91.9%</b>	<b>15.84</b>	<b>15.00</b>	
21/3Q1DO予	28,000	-31.4%	-200	-104.9%	-200	-104.6%	-200	-107.2%	-6.336	0.00	
21/3Q2DO予	29,000	-40.2%	200	-96.1%	400	-92.2%	350	-89.6%	11.09	0.00	
21/3Q3DO予	31,000	-27.3%	700	-79.6%	700	-81.0%	520	-81.6%	16.47	0.00	
21/3Q4DO予	32,000	-15.8%	1,100	-69.3%	1,100	-71.3%	730	-64.1%	23.13	15.00	
21/3H1DO予	57,000	-36.2%	0	-100.0%	200	-97.9%	150	-97.6%	4.75	0.00	
21/3H2DO予	63,000	-21.9%	1,800	-74.3%	1,800	-76.1%	1,250	-74.3%	39.58	15.00	
<b>21/3期DO予</b>	<b>120,000</b>	<b>-29.4%</b>	<b>1,800</b>	<b>-88.9%</b>	<b>2,000</b>	<b>-88.2%</b>	<b>1,400</b>	<b>-87.3%</b>	<b>44.35</b>	<b>15.00</b>	
<b>22/3期DO予</b>	<b>150,000</b>	<b>25.0%</b>	<b>10,200</b>	<b>466.7%</b>	<b>10,200</b>	<b>410.0%</b>	<b>7,650</b>	<b>446.4%</b>	<b>242.35</b>	<b>50.00</b>	

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	162,679	182,130	211,732	172,094	120,000	150,000
売上原価	114,604	125,039	146,008	121,009	90,000	110,000
売上総利益	48,075	57,091	65,724	51,085	30,000	40,000
販管費	32,515	34,598	38,149	36,090	28,200	30,000
営業利益	15,560	22,493	27,575	14,995	1,800	10,200
経常利益	15,961	22,583	28,186	15,549	2,000	10,200
親株主帰属純利益	10,241	14,226	18,521	10,712	1,400	7,650
地域別売上・受注・受注残	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期 DO予
日本	89,930	94,252	110,776	86,696	64,000	78,000
米州	41,546	47,889	56,035	47,215	32,500	43,000
欧州	21,989	26,918	29,893	25,202	13,000	14,500
アジア・パシフィック	9,213	13,071	15,027	12,980	10,500	14,500
売上合計	162,679	182,130	211,732	172,094	120,000	150,000
受注合計	157,973	207,136	218,488	140,471	105,000	160,000
受注残合計	46,780	71,790	78,545	46,924	31,294	41,294
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期 DO予
設備投資	9,362	5,484	7,172	10,328		
減価償却費	5,463	5,065	5,598	5,989		
研究開発費	4,179	3,928	4,596	4,597		
構成比	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	9.6%	12.3%	13.0%	8.7%	1.5%	6.8%
経常利益	9.8%	12.4%	13.3%	9.0%	1.7%	6.8%
親株主帰属純利益	6.3%	7.8%	8.7%	6.2%	1.2%	5.1%

